

東部水産漁港部だより

宮城県東部地方振興事務所
水産漁港部「みやぎ水産の日」PR広報紙

11月号



(令和元年11月29日発行)

【お問合せ先】水産漁港部内 水産振興班、漁業調整班

TEL:0225-95-7914, 1473

魚の“旬”をお知らせします！ ～魚市場編～

～石巻魚市場編～ 『金華サバ』のシーズン到来宣言！！

取材日の11月13日は、まき網船と定置網船の水揚げがありました。まき網船は「ウルメイワシ」、定置網船は「カタクチイワシ（セグロイワシ）」、「サワラ」の水揚げが多かったです。

21日は、まき網船による「サバ」が、今季初めてまとまった数量134t水揚げされキロ当たり100～130円の高値で取引されました。

翌22日もまき網船17隻による「サバ」1,241tの水揚げがあり、このうち120tが「金華サバ」の条件を満たしていたことから『金華サバ』のシーズン到来宣言がされました。今後も好漁が続くことを祈念しております。

定置網

当日は、「ブリ類」15t、「カタクチイワシ」9t、「サワラ」3.6t、「マサバ」1.7tの他、「マアジ」、「タチウオ」などが水揚げされました。「カタクチイワシ」は20～63円/kgで取引されました。



魚倉からの水揚げ



ベルトコンベアで運ばれます



魚種別に仕分けされます



イナダ(ブリの若魚)



カタクチイワシ (セグロイワシ)



サワラ



マサバ



タチウオ

まき網

当日は、まき網漁船11隻が入港し『ウルメイワシ』約250tが水揚げされ、63～100円/kgで取引されました。『ウルメイワシ』は目が潤んでいるように見えるためその名がつけられたと言われています。



魚倉からの水揚げ



スカイタンクに水揚げ



スカイタンクに水揚げ



ウルメイワシ



～女川魚市場編～ サンマ漁について

11月に入り、サンマの水揚げが毎日のように続いています。11月の水揚げ累計数量は約2,712 tでキロ当たり平均単価は約249円です(11/26現在)。水産庁の『令和元年度サンマ海況予報』によると三陸海域への漁場形成は10月下旬以降となっていますので、今後の好漁が期待されます。

サンマ棒受網

サンマ棒受網船は、4隻の水揚げが午前5時より始まりました。水揚げ数量は159 t、取引価格は200～330円/kgでした。市場関係者によると、魚体は100g前後のものが8割、残りは120～140g以上の大きさだそうです。「11月に入り連日の水揚げは嬉しいが、やはり昨年度や例年の漁獲量と比較してしまう。今後ともまとまった数量の水揚げを期待しています。」とお話いただきました。



魚倉からの水揚げ



スカイタンクに水揚げ



サンマ



水で鮮度を維持します



水揚げされたサンマのサンプル



せり(競り)を待つサンマ

第18回石巻かき祭りが開催されました

令和元年11月23日(土)、石巻かきブランド化事業委員会主催の「第18回石巻かき祭り」が、石巻市水産総合振興センターで開催されました。

会場では、むき身の生かきやかき汁、かきご飯、焼きかきなどが販売され、売り場には長蛇の列ができました。会場内には、飲食スペースも準備されており、たくさんの方々が、旬の石巻産かきに舌鼓を打っていました。

さらに、ステージでは東浜小学校の生徒による獅子風流や地元団体による演舞、太鼓の演奏などが披露され、祭りを盛り上げました。

▼ 第18回石巻かき祭りステージの様子



▼ 第18回石巻かき祭りの様子



宮城県産乾海苔初入札会

令和元年11月27日(火)、宮城県漁業協同組合塩釜総合支所において、宮城県産乾海苔の共販入札が始まりました。

初入札には、石巻管内の2支所(石巻湾、石巻地区)から乾海苔が上場され、たくさんの買受人の方々が、色やツヤ、味などを確認していました。

これからますます寒さが厳しくなり、宮城県産の海苔はさらに美味しくなります。皆さんも、おにぎりや海苔巻き、お正月のおもちなどと一緒には是非ご賞味ください。

▼ 上場された宮城県産乾海苔



▼ 宮城県産乾海苔初入札の様子



○編集後記

布団から出るのが辛い季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。この数週間で急に寒くなりましたが、カキやノリがこれからより一層美味しくなると、非常に楽しみです。朝早くからお仕事されている皆様には本当に頭が下がります。皆さんも体調には十分お気をつけください。(K. T.)